

ガソリン携行缶

正しく使う5つのポイント

危険性について

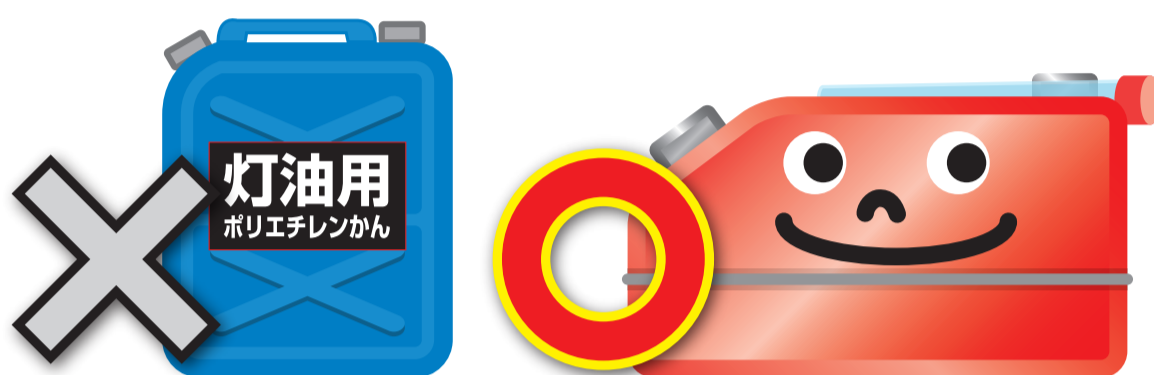
ガソリンは気温が -40°C でも気化し小さな火源でも、離れていても引火し爆発的に燃焼する物質です



-40°C

容器について

灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です



購入について



セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません

保管について

ガソリンを容器に入れて、長期間、または不必要に保管することは極力控えてください



噴出事故防止について

ガソリン噴出は事故につながります
取扱いには十分注意してください



噴出注意

- ☑ 周囲の安全を確認
- ☑ フタを開ける前に
 - ① エンジン停止
 - ② エア抜きをする
- ☑ 高温の場所禁止

CHC 危険物保安技術協会

ラベルのついた確かな製品を選びましょう

これが安心の印です。「試験確認済証」

このラベルは、危険物保安技術協会が実施した容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。



試験確認済証



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル
TEL. 03-3436-2353

<http://www.khk-syoubou.or.jp/>

危険物保安技術

検索



携帯・スマートフォンはこちらから▲